

平成30年11月18日
今週のベストショット



青松園B 雁の巣ライナーズ 対 三苦フレンズ戦
二回裏、三苦フレンズ六番・佐藤由志基選手が激走の逆転の2ラン。
写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎

青松園B フレンズ最終戦を逃げ切りで勝利。

雁の巣ライナーズ（6勝5敗2分）1000001 2 有馬●一明瀬（航）
三苦フレンズ（11勝2敗）021010X 4 山口、太田、山口一佐藤（由）

HR：国崎（雁の巣）、佐藤（由）（三苦フ） 3BH：生野（拓）（三苦フ） 2BH：佐藤（博）（三苦フ）
盗塁：吉村（雄）、生野（拓）（三苦フ）

まだ十分明るくなりきれない中で始まった試合。初回雁の巣ライナーズは、一死後二番国崎選手が三苦フレンズ山口投手の速球を見事に捕らえ、鋭い当たりがレフトへ。これがHRとなりライナーズが先制。続く明瀬（航）選手もヒットで続き、山口投手の立ち上がりを攻め追加点が欲しいところ。ではあったが、後続が倒れ1点止まり。対するフレンズは二回裏、先頭山口選手が中前打を放つと、六番佐藤（由）選手はショート横へ鋭いライナーを放つ。するとこれがレフトを抜け、2ランHRとなり逆転。さらにフレンズは三回裏にも生野（拓）選手の四球からチャンスをつかみ、山口選手が適時打を放ち追加点。そして、五回裏にも生野（拓）選手の三塁打から佐藤（博）選手の二塁打で1点追加し4-1とする。このまま試合は七回まで進み、フレンズは12奪三振の山口投手に代え、太田投手をマウンドへ。何とかしたいライナーズは二死と追い込まれるも相手エラーで今林（颯）選手が出塁すると、ワイルドピッチとエラーで1点を返す。続く太田選手のヒットと四球で二死一二塁となったところで、たまたまフレンズは山口投手がリエントリー登板。一打同点のチャンスだったが、明瀬（旭）選手がライトフライに倒れゲームセット。ヒヤッとしたがフレンズは最終戦を逃げ切り勝利を飾った。

（記事・写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎）



最終戦へ向け両監督の握手。



先発のフレンズ山口投手。



初回、鋭いあたりのHRを放つライナーズ国崎選手。



HRを放ち祝福される国崎選手。



ライナーズ先発の有馬投手。



一回裏、盗塁を決める吉村（雄）選手。



二回裏、フレンズ六番佐藤（由）選手のHR。



二回裏クロスプレーとなるも生還する佐藤（由）選手。



難しい打球をランニングキャッチする中口中堅手。



バンド攻撃に対応する有馬投手。



フライを好捕するライナーズ明瀬（旭）遊撃手。



フライを捕るフレンズ吉村（雄）遊撃手。



二塁打を放ちベンチに応えるフレンズ四番佐藤（博）選手。

青松園A し烈な打撃戦の結果 引き分け！

三友クラブ (3勝8敗2分) 4 4 0 2 1 0 足立、平田一鳥山

ブルーマーリンズ (0勝11敗2分) 8 1 1 0 1 0 佐野一井上（広）

HR：鳥山、坂本（歩）、中内（三友ク）横山（祥）（ブルー） 2BH：児玉 井上（紘）（ブルー）

一回表三友クラブは、先頭・平田選手の内野安打を皮切りに、相手投手のWP、タイムリーヒット等で幸先良く4点を先取。一回裏のブルーマーリンズは、四番系井選手のタイムリーヒットに続き、内野手エラーにつけ込

むスクイズ、九番横山（祥）選手のタイムリーヒットで加点し、打者一巡して迎えた一番児玉選手のライトへの二塁打に続き、二番末松選手の三塁手強襲ヒットなど、立て続けに8点を挙げ一気に逆転に成功！ 初回から両チームが大量点を獲り合う展開となった。二回表三友クラブは、先頭・平田選手のタイムリー内野安打、WPに続き、五番鳥山選手の豪快な2ランHRで4点を取り追いつく。二回裏ブルーマーリンズは、六番井上（紘）選手のタイムリー二塁打で負けじと1点を返すと、三回裏には九番横山（祥）選手の左中間を抜く見事なソロHR。ここまで三友クラブ8点に対しブルーマーリンズ10点とその差2点の派手な乱打戦の試合展開となった。四回表三友クラブは、三番中内選手の豪快なソロHRで1点、その後も相手内野手エラーで1点を返し10-10の同点に追いついた。四回裏、三友クラブは二死ながら三塁までランナーを進めたが、得点できず時間切れ引き分け終了となった。両チームとも今年は下位の順位となったが、来年は十分上位進出を狙えるチームという印象を受けた。（記事：奈多クラブ 今林 俊己、写真：今林 達也）



ブルーマーリンズ 先発佐藤投手。



三友クラブ 先発足立投手。



初回、三友クラブ先頭の平田選手のヒット。



一回表、三友クラブ六番谷崎レフト前タイムリーヒット。



ブルーマーリンズ横山監督自らレフト前タイムリー。



二回裏、三友クラブ リリーフ広瀬投手。



四回表、三友クラブ坂本歩夢選手ショート強襲左中間本塁打。



四回表、三友クラブ中内選手同点本塁打。



四回裏、ブルーマーリンズ浜崎選手のライト前ヒットで勝ち越しランナーを出すも・・・



二死三塁のピンチでブルーマーリンズ児玉選手を見逃し三振に打ち取り10-10の引き分け。



本塁打を打って照れるブルーマーリンズ横山監督。



試合が終わって、死闘を称え合う両監督。



三友クラブ 本塁打を打った中内選手・坂本選手・鳥山選手。

奈多グラウンド 今季最終戦！

和自新町パイレーツ（5勝6敗2分）1004 5 吉田○ー沖里
 レッドサンデーズ（4勝8敗1分）1000 1 川原●、塚本ー八島、前田

2BH：吉田、今泉（新町パ）古賀（レッド）

いよいよ今季最終戦、薄暗い奈多グラウンドでは、勝てば共に5勝目を挙げる両チームが対峙した。先攻はパイレーツ。立ち上がり制球に苦しむレッドの古賀投手から2四球を選び、四番吉田選手がしぶとく左前へタイムリーを放って先制。続く五番佐々木選手も四球を選び、一死満塁の絶好機を迎える。しかし、ここは古賀投手が踏ん張り、後続を三振、内野ゴロと打ち取って最少失点で切り抜けた。一方レッドサンデーズも二番八島選手が失策で出塁すると、続く前田選手の打球は捕前の内野安打となり走者が貯まる。その後二死となるものの五番古賀選手が左打者特有の左翼線へ切れていく二塁打を放ち、すぐに同点に追いついた。しかしその後は、二・三回と両チームともに走者を出すものの本塁まで迎え入れる事が出来ない。試合が動いたのは四回表。一死後パイレーツ九番田中選手が追い込まれながらも四球で出塁すると、一番八坂選手も四球を選び、二番本堂選手が左前安打を放って貴重な勝ち越し点を挙げた。勢いに乗るパイレーツは更に三番今泉選手が右中間を破る貴重な2点タイムリー二塁打を放つ等この回決定的な4点を奪って勝利した。レッドサンデーズは11人でやり繰りしており、

四回の守備から八島捕手が早退するという微妙な綻びをパイレーツに捉えられた。その綻びはパイレーツの九番田中選手が粘って四球を選んだ事から始まっており、(あちこちにファウルを打ち込んで審判に冷や汗をかかせていたものの、) その粘りがパイレーツに勝利を呼び込んだ。

(記事：塩浜ジャガーズ 高嶺 信彦、写真：一ノ瀬 四恩)



和白新町パイレーツ先発の吉田投手



レッドサンデーズ先発の古賀投手



一回表、二死三塁でしぶとく先制打を放つ吉田選手。



「切れて〜！」しかし無情にもフェア。



レッド前田選手のポテポテゴロがラッキーな内野安打。



一回裏、同点ホームインのレッド八島選手。



一回裏、同点二塁打を放ったレッド古賀選手。



三回表、タイムリー二塁打を放ち一塁を回る吉田選手。



粘るパイレーツ田中選手。



タマタマですけど。



パイレーツバッテリーとヒットメーカー達。

第26週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ!

第26週、11月18日は3試合が行われました。

青松園Bの雁の巣ライナーズ対三苦フレンズ戦は、初回ライナーズ二番国崎選手はフレンズ剛腕山口投手からのソロHRで先制するも、二回裏にフレンズ六番佐藤（由）選手の2ランで逆転を許すと、三回裏にはエース山口選手のタイムリー、五回裏にも佐藤（博）選手のタイムリーで追加点を挙げると、最終七回裏、代ったフレンズ太田投手が作ったピンチも、リエントリーの山口投手が見事火消し役を演じ、フレンズが勝利で最終戦を終えた。フレンズは勝ち点2で惜しくも二位に終わったが、若手とベテランがうまく絡んだ今年は来年へのステップとなるはずだ。

青松園Aの三友クラブ対ブルーマーリンズ戦は、三友クラブに初回から4点を先制されるものの、ここまで勝ち点1のブルーマーリンズが意地を見せ、その裏一挙8得点で逆転。しかし簡単には勝たせてもらえない。三友クラブが二回表に五番鳥山選手のHRなどで同点に追いつき振出へ。その後両チームとも2点ずつを取り合い、終わってみれば10-10の引き分け。今年のブルーマーリンズは1勝が遠かった。一方打撃好調の三友クラブは3本塁打で何とか同点に持ち込んだが、今季3勝止まりと投手力に課題を残す一年だった。

奈多グラウンドの和4勝同士の白新町パイレーツ対レッドサンデーズ戦は、最終戦を勝利で飾り少しでも上の順位に行きたいところ。両チーム初回に1点ずつを取り合うと、三回終了時点まで膠着状態。四回表パイレーツは、ここまでランナーを出しながらもしのいできたレッド先発古賀投手の2四球からチャンスを掴み、二番本堂選手、三番今泉選手のタイムリーで勝ち越すと、代った塚本投手から六番中島選手がダメ押しのタイムリーを放ち4点目。投げてはドロップを駆使したパイレーツ吉田投手に3安打と抑え込まれ、5-1でパイレーツが5勝目を挙げた。パイレーツは白岩監督兼選手が不在だったが、常に塁を賑わせ最終回の集中打で勝利をプレゼントした。一方レッドは八島監督が仕事のため途中で抜けた直後の失点、敗戦と対照的だった。

2018年のリーグ戦全て終了し、選手・監督・関係者の皆さん、お疲れ様でした。

何度か水曜日朝のアップに間に合わないこともありましたが、無事に全試合お届けすることが出来ました。

各チームの編集部員さん、記録委員の皆さん、運営委員の皆さん、そしてリーグ執行部の皆さん有難うございました。

来年は、もっといい記事、もっといい写真、そして早めの送信をお願いします。

今年のWSLは、12月9日（日）、8：00から奈多グラウンドでの和白・三苦・奈多の3地区対抗戦と15時から三苦公民館で行われる閉幕式を残すのみとなりました。（運営委員さんはどちらも30分前に集合）

多くの選手に参加していただいて、盛り上げてほしいと思います。

今年もWSL激闘映像を作成しますので、是非見に閉幕式に参加してください。